

数 学

【特に正答率の高かった設問】

◎数学的な知識・技能

- ・ 数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる問題（問題A）
- ・ 不確定な事象についてデータに基づいて考察する場面において、累積度数の意味を理解しているかどうかをみる問題（問題B）



学習理解を深めるための授業内容の工夫に加え、単元テスト・定期テスト・数学コンテストを計画的に行い、スモールステップで学習した効果が見られます。

<実際の問題A>

$12\left(\frac{x}{4} + \frac{y}{6}\right)$ を計算しなさい。 <正解>
 $3x + 2y$

<実際の問題B>

女子 50 m 自由形の記録

階級(秒)	度数(人)	累積度数(人)
以上 未満		
27.00 ~ 28.00	3	<input type="text"/>
28.00 ~ 29.00	2	<input type="text"/>
29.00 ~ 30.00	4	<input type="text" value="ア"/>
30.00 ~ 31.00	11	<input type="text"/>
31.00 ~ 32.00	8	<input type="text"/>
32.00 ~ 33.00	6	<input type="text"/>
33.00 ~ 34.00	3	<input type="text"/>
34.00 ~ 35.00	3	<input type="text"/>
合計	40	

女子 50 m 自由形の記録の には最小の階級から 29.00 秒以上 30.00 秒未満の階級までの累積度数が入ります。 に入る値を求めなさい。

<正解> 9

【課題が見られた設問】

△数学的な知識・技能

- ・ 自然数の意味を理解しているかどうかをみる問題（問題C）

<実際の問題C>

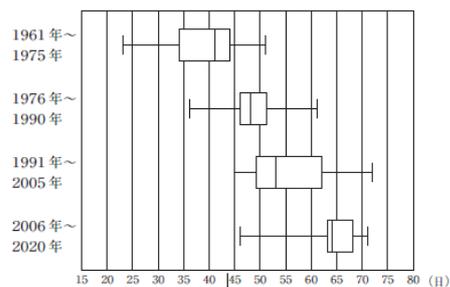
下のアからオまでの数の中から自然数をすべて選びなさい。
ア -5 イ 0 ウ 3 エ 4.7 オ 9

<正解> ウ、オ

△数学的な思考・判断・表現

- ・ 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題（問題D）

<実際の問題D>



前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。

【今後の対策】

- ・ 具体的な事象を用いて自然数の意味を説明したり、「自然数は正の整数であり、0は含まない」ことを繰り返し確認したりと、基本的な知識の定着を図ります。

- ・ 度数分布表や箱ひげ図などの正しい読み取り方を丁寧に学習していきます。また、グラフなどからわかる情報を、生徒同士で話し合い、互いに説明をしながら考えを深めていくような活動を増やしていきます。